

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 岡山市立足守小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒701-1145
岡山県岡山市北区足守789

E-mail : ashimoris@city-okayama.ed.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 99名 女子 88名 合計 187名
 児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (地域学習・社会福祉)

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

平成25年度岡山ESD推進協議会ユネスコスクール活動報告書

1 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

1. 第1学年 身近な自然とふれあう体験活動 「あきをさがそう」

○10月～11月

○学校や周辺の公園

○児童32名

○秋探しをテーマに、どんぐりや落ち葉拾いをした。そして、おもちゃをつくり、おもちゃ大会を行って、2年生と交流した。



2. 第2学年 身近な自然や施設とふれあう体験活動 「町たんけんに出かけよう」

「町たんけんに出かけよう」

○5～6月

○学校周辺

○児童36名

○学校周辺を探検し、見つけたことを絵や言葉でまとめ、「足守おもしろはっけんマップ」に表した。



3. 第3学年 足守の町や特産物などを調べる学習活動 「足守メロンのひみつ」

「足守メロンのひみつ」

○5月～7月

○メロン農家（メロン栽培の見学）

○児童33名

○足守メロンについて、栽培の様子を見学したり、メロンまつりの実行委員の方に話を聞いたりして、理解を深めた。



4. 第4学年 足守の自然を調べる学習活動
「足守川探検隊」

- 5月～2月
- 学校の近くを流れる川 足守川
- 児童33名 岡山県環境保全団体 職員の方
- 岡山県環境保全団体の方に依頼して、足守川の生き物採取、観察を行った。たくさんの種類の生き物を採取することができた。
- 継続的に飼育し、観察し続けるとともに、自分たちが足守川に何ができるかを広げていった。



5. 第5学年 米作りについて調べる学習活動
「バケツ稲を育てよう」

- 5月～12月
- 学校周辺の田んぼ
- 児童18名
- 地域の米作り農家の田んぼに見学に行ったり、米作りについて、インタビューをしたりして、足守地区の米作りを詳しく知ることができた。
- 自分たちも実際にバケツ稲を育て、体験活動を行う中で、米作りの苦労や工夫、努力を考えることができた。



6. 第6学年 足守の歴史と輩出した人物を調べる学習活動
「足守の3大偉人を調べよう」

- 4月～2月
- 学校の近くにある緒方洪庵生誕地 など
- 児童31名
- 足守の3大偉人「緒方洪庵」「木下利玄」「寂庵和尚」の人物像や功績などを調べ、「洪庵祭」や「寂庵とんど集会」「利玄祭」で全校の前で発表した。
- 「洪庵祭」では、地域の方も招待し、自分たちで調べたことを校内だけでなく、地域に発信できるようにした。



2 ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ

- 今までも、継続的に取り組んできた郷土についての活動をふまえながら、積極的に地域に関わることにより、足守について新たな発見や考えのもてる、児童の育成を目指した。

○全学年を通して取り組むことによって、系統的に多様な体験ができるようにした。足守の豊かな自然、人、特産物、歴史、文化など、段階的に様々な分野で地域とつながっていくことができるようにした。

3 取組の成果（参加者の変化、感想等）

○生活科や総合的な学習の時間の活動を見直し、どの学年も年間計画の中で、足守についての活動を組み込むことができた。また、地域の人材活用に幅が広がった。

○全学年で取り組むことにより、足守の人・自然・文化財・歴史について豊かな関わりができています。今まで身近にありながら、よく知らなかったことに理解を深め、より足守のことを知りたい、関わっていききたい、大切にしていきたいという思いがもてるようになっていくことは、大きな成果である。

○活動したことを発表や掲示によって発信し、相手意識をもたせたことは、子どもたちの意欲を高めることにつながった。

4 今後の課題と展望

○学校として、さらにESDについての理解を深めるために、校内研修をもっと積極的に取り入れたい。また、他校との交流を視野に、さらに活動内容の充実もはかかっていきたい。

○全学年にわたって、幅広く活動しているが、内容においては、少し焦点を絞っていくという必要性も感じている。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（)